



あおぞら

◀ みたかハンディキャブ交流誌 夏季号 Vol.134 ▶



協力：朗読ボランティア 《ういろうの会》

平成30年度総会

去る4月22日（日）午前10時より三鷹市上連雀分庁舎二階会議室において、市役所障がい者支援課川口課長・清原市長代読、央戸三鷹市議会議長、中村都議、山田都議、吉野社協会長を来賓にお迎えして開催されました。

正会員53名：出席者26名、委任状提出者13名、定款26条の要件を満たし総会は成立をいたしました。平Vo.の司会で始まり、宮田理事長の挨拶、各ご来賓の挨拶がありました。

清原市長からはキャブ活動40周年のお祝いとともに、日々の活動に対する感謝の言葉をいただき、また来賓各位からもキャブの活動に対するねぎらいと感謝のお言葉がありました。

その後議長に坂本Vo.を選出して平成29年度事業報告、決算報告および会計監査報告が承認されました。

引き続き今年度は理事改選の年にあたり、平成30年度事業計画、事業計画予算書、新役員及び新体制が提示され協議の結果承認されました。

*理事

理事長 宮田 榮一

副理事長 平 智享／総務部、東垣隆満／運行部、野本信治／広報交流部

理事(総務部) 加持真人、須山正人(運行管理システム特任)

理事(運行部) 桑原正男、児玉裕昭、佐藤隆志

理事(広報交流部) 坂本昭雄、吉沼徳人、伊藤五十鈴

監事 坂東日出彦、清水紘子

総会終了後、昨年75歳キャブ運行ボランティア定年を迎えられた児玉さんに花束贈呈が行なわれました。今年度から理事を引き受けられ、引き続き今後2年間キャブの運営をお願いしています。



理事長就任の挨拶

理事長 宮田 榮一

4月22日に開催された平成30年度通常総会において、3期目の理事長に就任いたしました。平成30年度は、私ども“みたかハンディキャブ”は創立40周年の節目にあたります。これも日頃より関係各位のご支援と、年々の発展にご尽力くださった多くのボランティアさんの協力があったからこそ成しえた結果です。

ただ機会があるたびに皆様へお知らせをしている、“運転ボランティアの不足”は、我々の日々の活動に支障が出てきているのが現状です。創立当初からの目的である、利用会員の皆様が日々活動・外出するための「足」としての要望に応えられるよう「安全・安心な運行」を目標にキャブ一同鋭意活動してまいります。

一泊交流会

去る5月19日から20日にかけて、常陸那珂方面への2018年度の一泊交流会が行われました。参加者は利用者さんと付き添い者さんが12人、ボランティアさんが15人の合計27人の団体旅行となりました。前日からの悪天候予報を覆した恵まれたお天気でもにより、企画者をほっとさせた旅行でした。

行きの車中は、いつものベテランガイドの坂本さんに代わり不慣れな新人加持が司会を務めてなんとか間を持たせる展開に、うるさい沿線説明より流れる景色が何よりの時間つぶしとなったようで、楽しく最初の目的地である国営ひたち海浜公園に到着しました。

ここは広大な敷地の中に四季折々の草花が咲き乱れる自然の地形を生かした車いすでも楽々通行できる整備された散策路や車いすごと乗車できる園内周回乗り物(シーサイドトレイン)や大観覧車などもあり、またレストランや屋外の椅子テーブルも設置されていたので、我々もお昼ご飯は目の前の大洗海岸で水揚げされた出前のシラス丼を賞味。風が多少強かったものの日なたは多少汗ばむくらいの陽気に、園内散策に励みました。また大観覧車からは広大な敷地とともに太平洋につながる大洗海岸を見ることができ、ゆったりとした空中散歩まで楽しむことができました。(表紙写真参照)

ネモフィラの丘は盛りを過ぎてしまったもののバラ園やポピーの花壇、名も知らない様々な草花に大いに心を癒されました。

本日の宿は「いこいの村潟沼」。ここのお風呂は目の前に潟沼を望める展望大浴場。まだ日が沈む前のキラキラと光る水面を見ながらの入浴は最高のおもてなし。残念ながら男女とも利用者さんの参加は各1人の寂しい限り。お部屋のお風呂が快適だったのかな。

夜の宴会は、付き添いの方々も一緒に思いっきり飲んで食べて笑っていただこうと、ボランティア丸となって活躍。食後の楽しみも趣向を凝らしたゲームに全員が目色を変えていました。

さて翌日は多少風が強かったものの西のかなたに日光連山と思しき山並みまで見えるような快晴中の快晴。ゆっくりとした朝ごはん、デザートにメロンのおかわりまでついて、まるで自宅でくつろいでいるような感じだったのではないかと思います。ホテル前での記念集合写真撮影では従業員さんの協力で何枚も撮っていただきました。

ポケットファームときどき茨城町店までは少々狭い一般道。それでも古い土蔵などが残る趣のある昔の街道筋を抜けてポケットファーム到着。開店直後の10時過ぎだったので、駐車も楽々、さらにお買い物エリアでは数量限定の特価見切り品なども手に入れることができた利用者さんもいたようです。昼食のバーベキューはお肉も余るほどたくさん、おまけにおにぎり2個はさすがに多すぎた。お持ち帰りの利用者さんもちらほらあったようです。

楽しかった一泊旅行もあとは帰るのみとなり、行きと同じルートで三鷹へ。行きに見えなかった筑波山も今日はくっきりと望め、真正面には東京スカイツリーの姿がずっと見られました。途中のトイレ休憩に寄った守谷サービスエリアでは、お土産購入を予測していたもののポケットファームで十分満足されたのか、せいぜいソフトクリームをなめている方がちらほら。あとは渋滞もなく手作りの歌集で大合唱。無事三鷹到着となりました。



新規運転ボランティア募集ビラ配りと説明会実施

5月12日に三鷹駅南口で大きな声を張り上げ訴えましたが、大半が初めての経験でビラを受け取ってもらうのにも一苦労。思った様にはいきませんでした。そんな中でも案外、ご婦人が多く受け取ってくれるのには驚きました。身近な人に話をしていただけるだけでもありがたい、何人くらい入会してくれるかな、と期待を込めながらビラ配りを行いました。



また5月27日にはキャブ説明会を実施。出席してくれた5名全員が入会することに。頑張った成果が出てとっても嬉しくなりました。協力してくれたボランティアさんに感謝です。

年間の協力行事予定・主催行事

8月 みたかボランティアセンター夏祭り(25日)
9月 敬老のつどい送迎(15、16日)
10月 日帰り交流会(21日)
11月 福祉バザー (18日)、
福祉有償運送運転者講習会(6月、11月、31年3月)
理事会・報告会(原則毎月第2日曜日、午前/午後)
その他随時お知らせいたします

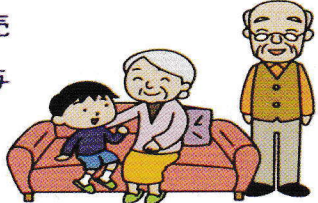


株式会社
サカイ・ヘルスケア

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



＜サカイ・ヘルスケア 三鷹店＞
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

みたかハンディキャブ緊急連絡先

運行管理者／東垣 080-1102-7281

万一上記の連絡先で連絡が取れない場合のみ下記の連絡先へご連絡ください。
須山 080-2150-9696、野本 080-3256-8660、宮田 090-4833-3541

NPO法人 みたかハンディキャブ 交流紙
発行 NPO法人みたかハンディキャブ交流部会
〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎
TEL 0422-41-0185 FAX 0422-41-0274
E-mail : mcab3@jcom. zaq.ne.jp
http://mcab.jp
発行日 : 2018年6月18日